

発議第4号物価高騰から暮らしと営業を守る抜本対策を求める意見書について賛成者の一人として討論を行います。

折しも、参議院選挙を前に各党が経済政策を発表しています。中身については違いがあるものの、大事なことは、今回の選挙の争点の一つになっていることです。

この新型コロナウイルス感染症のさなか、物価高や円安が進む中で、この国の経済対策の見直しを行うという点では一致せざるを得ない状況になっていると考えます。

誰が出したかの意見書ではなく、市民生活を守るという点から、一例は挙げていますが、具体的強固な抜本対策を論じていないのも提案者の工夫とも取れるのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使い方についても、既に国会は閉会していますが、野田市は適切に活用していると思いますが、中には税金の使い方として疑念を抱くような使い方の議論がありました。

野田市民の暮らしを守っていくこと、野田市で営業を営む小売店の多い中で苦心されている事業者さんを支援していくことも訴えていかなければなりません。暮らしの声を届ける役割を担っていくべきだと考え、国に対しての意見書として提出することに賛成するものです。